

Weekly コラム

平成 27 年 2 月 17 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

～あの時、この人～ 尾崎将司

ジャンボ尾崎の愛称で親しまれているプロゴルファー、尾崎将司。徳島県は海部郡の出身で、プロゴルファー転向前はプロ野球選手だったことは有名です。1965年に西鉄ライオンズに投手として入団するが、すぐに外野手に転向。その後わずか3年で野球をあきらめて退団を決意。野球では他の選手(池永正明)にどうしても勝てないと思ったのが退団の理由だったそうです。西鉄を退団後、プロボウラーの道も考えましたが、当時のエースピッチャーであった稲尾和久にゴルフの道を勧められたことにより、プロゴルファーへの道を選んだとのこと。

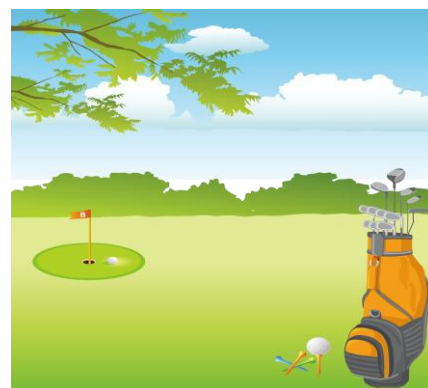
現在は女子プロゴルフとの人気差が、大きく開いてしまった男子ゴルフ。その原因は以前のジャンボ尾崎のような圧倒的なスターがいなかったという事が要因です。今人気と実力のある石川、松山の若手二人は、アメリカツアーでメジャー優勝を目指していますので、国内ツアーは人気低迷。まさにスター不在がツアー数の減少に反映されていると言えるでしょう。

当時の日本ツアーで史上初の2億円プレイヤーとなったのがジャンボ尾崎です。しかも当時は今と違い上位の選手層が厚く、尾崎直道、中島常幸、丸山茂樹、青木功というスター選手たちがしのぎを削っており、その上位の選手たちで年間20

勝、常にツアーの3分の2の優勝をさらっていた時代です。したがって当時の景気に乗り、日本の大手企業がゴルフツアーのスポンサーになりたがった時代でした。

ジャンボ尾崎の強さの秘密は、もちろん、当時の道具で300ヤードを越える圧倒的な飛距離にあります。しかし実は、小技が圧倒的にうまいと言うことはあまり知られていません。アプローチとパターの技術は、今の石川遼や松山英樹より上。もし若いときに今の道具を使えばタイガーウッズよりうまいはずだという専門家もいます。本当に今の時代にタイムスリップしてタイガーやアメリカ選手と戦う姿を見て見たいものです。

ジャンボ尾崎の世界ランキングの自己最高が8位。通算優勝回数が113回で、世界プロツアー最多記録保持者。2010年には世界ゴルフ伝道入りを果たしている名選手です。2013年には日本男子ツアー史上初のエージシュートを、年齢より4打少ないスコアで達成しました。スポーツ選手として、素晴らしい記録を保持しています。近年は持病の腰痛との闘いのようなのですが、今後は選手活動よりもツアーの発展のための活動に重きをおいて、少し違った立場でますます活躍して欲しいものです。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、vasukouchi@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX 不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。